

第五十九回
帝國議會
貴族院

輸出生絲檢查法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和六年三月十九日(木曜日)午後一時四十六分開會

○副委員長(子爵伊集院兼知君) ソレデハ

蠶絲業組合法律案特別委員會ヲ開會イタシマス、此全部ノ問題ニ供シテ置キマスカラ御隨意ニドウゾ御質問下サイマシ

○加藤政之助君 チョット大體ニ付テ御質問ヲ申上ゲタイ、此法案ヲ見マスと云フト

第一條ニ、一カラ六マデアリ、其他關係ノ色ミナ組合ガ出來マスルヤウデアリマスガ、此蠶絲業ニ付テハ、過去ニ我々ノ見ル所ニ依ルト云フト不統一ナ點ガ方々ノ方面ニ澤山アッタヤウニ思フノデアリマス、ソレハ第一ニ申上ゲレバ、此蠶種ノ製造蠶種ノ掃立、

是ニ付テモ統一ヲ缺イテ居ル、從テ或ハ生産過剩ニ陥ルト云フヤウナコトモアリ、折角掃立タ養蠶ヲ最後マデ仕上ゲル桑ヲ持タナイ、ソレナラバ途中デ買上ゲテ、其養蠶ヲ仕上ゲレバ宜イカト云フノニ、買上ゲテヤレバ損ガ行クト云フノデ、或ハ河ニ流ス、或ハ地ニ埋メルト云フヤウナコトモ往々アッタヤウデアリマス、從テ生産過剩ノ弊ニ陥ルト云フコトモ往々見ル所デアリマスガ、此度ノ法案ガ出來タ以上ハ其邊ノ、

過去ニ於ケル弊害ハ總テ統制ヲシテサウシテ統制命令ノ下ニサウ云フ弊害ヲ全ク除去スルト云フコトガ出來ルノデアラウト思ヒマスガ、果シテ其邊ノコトハ總テ十分ニ御見込ガ立ッテ居ルノデアリマスカ、又之ヲ見マスルト云フト勅令ニ讓ルト云フ條項ガアリマスヤウデアリマス、第九條ノ一項、モウ一ツドカニアッタト思ヒマスガ、其勅令案ト云フヤウナモノハ總テ出來テ居ルノデアリマセウカ、出來テ居ルノデアレバ、ソレヲオ示シヲ願ヒタイ

○政府委員(小平權一君) 御質問ニ對シテ

オ答ヲ申シマスガ、今度ノ蠶絲業組合法案ハ主トシテ從來同業組合デハ出來ナカッタ蠶絲業ノ統制ト云フコトヲ主眼トシテ、此法案ヲ立案シタ譯デアリマシテ、此理由ノ所ニモ書イテアリマス通り、各業者ノ事業ニ付テ統制スル統一スルト云フコト、取引方法ヲ改善スルト云フコト、検査ヲスルト云フコト、サウ云フヤウニ統制ニ關スル事業ヲ主トシテ此團體ニハ認メタノデゴザイマシテ、從來ノ同業組合ノヤウニ單純ナ消極的弊害ヲ除去スルト云フノミデナクシテ、進ンデ日本ノ蠶絲業ノ根幹タル養蠶業、

蠶絲生産業、生絲生産業、間屋業、輸出業等ヲ力強い公法人タル團體デ、徹底的ニ統制シヤウト云フ趣旨デ立案シタ譯デアリマシテ、是ガ出來マスレバ、從來ノ色ミナ弊害ヲ相當除去スルデアラウト思ッテ居リマス、併シ一方ニ於テハ蠶絲業法ニ依テ蠶種ノ製造トカ、或ハ繭取引ニ付テノ色ミナ業者ニ認可ヲスル制度ニナッテ居リマシテ、サウ云フ方面デモ協力イタシマスガ、ソレト相俟ッテ今度ノ統制ヲ目的トスル此制度ガ生レマスレバ、從來ヨリモ一層蠶絲業關係ノ各種ノ業務ガ統制サレテ處理サレテ來ルト云フ確信ヲ持ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラシテ勅令ニ讓ル點ハ此第九條ノ末

項ニ「行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」ト云フ規定ガ載ッテ居リマスガ、是ハ從來之ニ似タヤウナ農會デアリマスとカ、サウ云フ團體ニ度々規定サレテ居ル事項ガ之ニ這入ル譯デアリマスガ、其規定ノ主ナル事項ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、此第九條第四項ノ規定ノ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト云フ此規定ノ中ニハ、蠶絲業組合、蠶絲業組合聯合會、又ハ日本中央蠶絲會ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徴收ノ通知ヲ受ケタモノガ、其

處分ニ不服アル時ハ、其蠶絲業組合、蠶絲業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル權限ヲ與ヘルコト、ソレカラ更ニ其異議ノ申立ガアツ場合ニ於テハ、其蠶絲業組合、蠶絲業組合聯合會、及ビ日本中央蠶絲會組合長又ハ會長ハ遲滞ナク決定ヲナシテ申立人ニ之ヲ通知スベキコト、更ニ蠶絲組合ノ組合員ガ前項ノ決定ニ不服アル時ハ、決定ヲナシタル蠶絲業組合ヲ經由シテ地方長官ニ訴願ヲナシ、其裁決ニ不服アル時ハ農林大臣ニ訴願シ、又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル、其以上ノ地方長官ノ裁決ニ付テハ當該蠶絲業組合ノ組合長ヨリモ農林大臣ニ訴願シ、又ハ行政裁判所ニ出訴シ得ルコト、尙ホ蠶絲業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ノ會員ガ前

ニ申上ゲマシタ、最初申上ゲタ一二ノ事項ノ決定ニ不服アル時ハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴シ得ルコト、ソレカラシテ此九條ノ二項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタ者ガ其處分ニ不服アル時ハ地方長官ニ訴願シテ、其裁決ニ不服アル時ハ行政裁判所ニ出訴シ得ルコト、ソレカラ異議ノ申立又ハ訴願若クハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知

又ハ決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算シテ三十日以内ニ之ヲナスベキコト、ト云フヤウナ要項ヲ含メタ事項ヲ規定シタイト思フテ居ル次第デゴザイマス

○加藤政之助君 只今ノ御話デ私ノ質問ノ意ハ稍、満足スルノデアリマス、之ニ依ルト此費用ハ強制的ニ總テナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ町村費ニ付テト同ジク強制徴收ノ權力ヲ持ツヤウニ見エテ居リマスガ、此強制ニ付テ取立テタ金ハ町村ニ手数料カ何カヤッテ、サウシテ組合自身デハ直接ノ關係ヲ持タズニ徴收ガ出來ルヤウニナッテ居リマスガ、サウデスカ

○政府委員(小平權一君) 御答ヘ致シマスガ、此經費ヲ滯納シタ場合ニ於テ又ハ過怠金ヲ滯納シタ場合ニ於テ強制的ニ徴ル方法トシマシテハ、此團體ガ公法人デアリマス關係上、市町村制ノ例ニ依テ滯納ノ處分ヲシテ執ルコトニナッテ居リマスガ、ソレハ組合ノ經費又ハ過怠金ノ滯納ガアッタ場合ニ於テハ組合長ガ町村ニ請求ヲシテ、サウシテ其請求ニ依ッテ町村ガ市町村制ノ例ニ依ッテ之ヲ處分スルコトニナリマス、ソレデ處分シテ、市町村デ取立ッテ、其取立ッタ金額カラ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スルコトニナリマスカラ、百分ノ四ヲ差引イテ其残りヲ

蠶絲業組合ノ方ニ拂フコトニナリマス、一旦經費ノ怠納又ハ過怠金ノ怠納ガ生ジテ、ソレヲ組合長ガ町村ヘ請求シナケレバ、町村デハ取立ハシナイノデアリマシテ、請求シテ初メテ町村デ町村制ノ例ニ依ッテ取立ルト云フ手續ニナルノデゴザイマス

○加藤政之助君 取立ハ總テ町村ガ代行スルコト、斯ウ云フコトニナリマスカネ、要求スレバ……

○政府委員(小平權一君) 左様デゴザイマス、強制的ニ取ルト云フコトニナレバ町村代行スルコトニナリマス、任意ニ取ルノハ自由デアリマス

○男爵平野長祥君 私ノ伺ヒタイノハ前同ニ於テモチヨット御尋ネヲシタノデアリマスルガ、今回ノ蠶絲業組合ハ約六種ノ組合カラ成立シテ居ルノデアリマスガ、此桑園ト云フモノノ總テ指導獎勵ノ途トカ、或ハ改良ノ途トカ、總テサウ云フコトハ、ドノ組合ニ屬シテ計ラレルヤウニナルノデアリマセウカ、是ガ又他日一ツノ獨立ヲシタ何カ組合デモ作ルト云フヤウナ形勢ニナリハシナイカトモ思ハレマスシ、現在ノ所カラ見マスレバ、養蠶業者ノ兼營ガ殆ド全國ニ亙ッテ多イヤウデアリマスノデ、今日ノ所デハ養蠶業者ノ組合中デ總テ桑園ニ關スル事

項ヲ裁イテ行クコトニナルノデアリマセウト思ヒマスガ、其中ニ現ニ桑園ノミヲ營業トシテヤッテ居リマス農民ガアルノデアリマスルガ、是等ハ矢張り總テ此養蠶業組合ノ支配ノ下ニ支配サレテ行クコトニナルノデアリマセウカ、其點ガマダドウモ少シ分リマセヌノデ伺ッタ次第デアリマス

○政府委員(小平權一君) 御答イタシマスガ、桑園ノ改良指導等ノ事業ハ、此法案デハ養蠶組合ガ其事業ヲ行フコトニナッテ居ル譯デアリマス、併シ養蠶業組合ハ公法人デアリマス關係上、農會等ト同ジヤウニ必シモ其組合員デナクテモ其區域内ノ養蠶業ニ密接ノ關係ガアレバ指導ノヤウナコトハ、是ハ公法人デアル關係上致シマシテモ目的外ノコトニハナルマイト思ッテ居リマス、從ッテ其區域内ノ桑園全體ニ亙ッテ指導獎勵ヲスル必要ガアレバ、經費ノ許ス限リ此組合デ致シテ差支ナイト思ッテ居リマス

○男爵平野長祥君 サウ致シマスト獨立ヲシテ桑園ノミヲ營業トシテヤッテ居リマスル農民ナドハ、總テ何レノ組合ニモ入ラスコトニナルノデアリマセウカ

○政府委員(小平權一君) 桑園ノミノ業者ト云フモノハ入ラスコトニ考ヘテ居リマス、是ハ此前申上ゲマシタヤウニ、桑園ノ

ミノ業者ト云フモノハ數ガ少イノミナラズ年々減少シテ來マス、現在桑園ノミノ、養蠶ヲ行ハナイ桑園ノミ持ッテ居ル者ノ桑ノ數量ト云フモノハ「パーセント」内外デアリマシテ、而モソレガ段々減ッテ來ルヤウナ傾向デアリマスカラ、此法案ヲ立案スル現在ノ考トシテハ之ニ入レナカッタ譯デアリマスガ、將來サウ云フ業者ガ非常ニ殖エテ來ルト云フコトニナレバ考ヘナケレバナリマセヌガ、今ノ所ハ其必要ヲ認メナカッタノデ、組合員ニハ入レナカッタノデアリマス

○山上岩二君 チヨット伺ヒマスガ、是ハ農會ト重複スルヤウナコトハナイデセウカ、事業ハ農會ノ事務ト重複シテ却ッテ統制上ノ困難ヲ生ズル、組合員トシテハ兩方デ二重ノ費用ガ掛カル、サウ云フ風ナ嫌ガアルヤウニ考ヘラレルノデスカ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○政府委員(小平權一君) 御答イタシマスガ、農會トノ關係ニ付テハ十分此案ヲ立デマス時ニ農林省トシテモ考慮イタシマシタ譯デアリマス、現在主トシテ養蠶關係ニナリマスガ、此養蠶業組合ノ基礎トナル養蠶實行組合ト云フモノニ該當スル養蠶業者ノ任意組合ガ現在二万七千ゴザイマス、ソレ

ガ毎年非常ナ勢デ増加シテ來テ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、サウ云フ養蠶組合ノ爲ニ發達シテ來ル所ハ養蠶業ノ關係デ……殊ニ養蠶業ノ共同作業、稚蠶共同飼育トカ、ソレカラ稚蠶共同桑園ヲ經營スルトカ、繭ノ共同販賣ヲスルトカ云フ事業ハ任意組合ノ養蠶組合デ主トシテヤッテ居ルヤウナ事情デアリマシテ、ソレヲ今度現在アルモノ、又將來段々發達シテ來ルモノヲ其儘取入レテ、養蠶業組合ノ基礎トスルコトニ立案シタ譯デアリマシテ、從テ此養蠶ノ共同作業ヲ進メルト云フコトカラ考ヘマスレバ、サウ云フ任意組合ガ段々殖エテ來マシテモ別ニ經費ガ二重ニナルト云フヤウニハドウモ考ヘラレナイヤウニ思フテ居ルノデゴザイマス、ソレデ現在デモ任意組合ノ二万七千ノ養蠶組合ガ郡ノ聯合會、府縣ノ聯合會ヲ組織シマシテ、更ニ全國ノ中央聯合會マデ組織シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、現在アルモノガ其儘變ルノデアリマスカラ、別ニソレガ爲ニ經費ヲ餘計負擔スルト云フコトニハナルマイカト思フノデアリマス、ソレデ養蠶ノ實行組合ガ殖エマスレバ、主トシテ是ハ實行組合ハ共同作業ガ主タル事業デアリマシテ、其結果養蠶業者ノ收益ハ從來ノ調ベニ依リマス云フト、任意組合

ヲ作りマシテ共同作業ヲ致シマス云フト、サウ云フ任意組合ヲ作ラヌデ共同作業ヲ致シマセヌ農家ヨリモ二割位ノ增收ニナルヤウナ次第デアリマス、養蠶業者トシテハ少シ自覺シテ來マスト云フト、皆此共同作業ヲスルヤウニナッテ來ルノデアリマシテ、ソレガ郡ニ集テ任意組合ノ統制ヲ圖ルト云フコトニナリマスレバ、却テ此法制ガ完備スルコトニ依テ從來ヨリモ色ミナ無駄ナ經費ハ要ラヌコトニナルノデハナカラウカト思フテ居リマス、現在任意組合ノ養蠶組合ガ共同作業ヲスル場合ニハ、稚蠶共同飼育所ヲ設置スルヤウナ場合ニ於テ資金デモ要スル場合ニナリマス云フト、法制上何等認メテ居ラナイ關係上、公正證書ヲ作成シタリ、色ミノ手數ガ掛カリマスノデアリマス、是ハ法制上公認セラレテ確立シテ來マスレバ、サウ云フ無駄ナ經費モ隨分省ケルト思ヒマス、ソレカラ農會トノ關係ハ養蠶業組合ガ……任意組合ノ養蠶ノ組合ガ餘リ發達シナイ所デ、農會ノ方デ養蠶ノ指導獎勵ヲシテ居ルヤウナ地方ハ、此法律ノ第三十條デ農會ガ矢張り養蠶業組合ニ一緒ニナッテ指導獎勵ガ出來ルヤウニ法律デ認メテ居リマス、勿論農會ヲ養蠶業組合ニ強制加入スルコトハ出來マセヌケレドモ、主

トシテ農會デ養蠶ノ指導獎勵ヲシテ居ルト云フ地方ガゴザイマスレバ、農會トシテ郡區域ノ養蠶業組合ニ加入ヲシテ、一緒ニ仕事ヲヤルヤウニシテ、サウシテ經費ノ重複スルヤウナコトハナイヤウニト云フ方針デ進ンデ行キタイト思フノデアリマス、是ガ第三十條ノ規定ニ其趣旨ガ現ハレテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フ工合ニシテ今度此團體ガ出來マシテモ、從來ヨリモ農會ノ經費ハ要ラナイ、コチヲノ方ニ特別ニ新シク經費ヲ負擔スルヤウニハナルマイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵平野長祥君 第四十六條デアリマスガ、此産業組合製絲組合並ニ俗ニ申ス營業製絲組合、此目的事項ガ列擧サレテ居ル中ニ此生絲検査ニ關スル事項ガアリマスガ、斯ウ云フコトハ過日本委員會ニ於テモ曩ニ議決ヲ致シマシタ生絲検査ノ改訂トカガアリマシテ、ソレヲ關聯シテ考ヘテ見マスルト、何ダカ斯ウ云フ事項ハ殆ンド無用ノ長物ノヤウニ思ヒマスルガ、是ハ此法案ハアノ生絲検査所ノ検査方法ノ改訂ガアリ、進ンデアノ検査方法ガ一ツノ検査デアッテ、前ニモ後トニモ他ニ検査ヲ有シナイト云フ位ノ權威アル検査ト云フコトニナル譯デアリマスルカラ、サウ致シマスルト此組合デ以

テ特ニ此検査規定ノヤウナモノヲ目的事項ニ置クト云フ必要ハナイガラウト思ヒマスルガ、ドンナ端ニ斯ウ云フ目的事項ヲ備ヘテ置ク必要デモアリマスカ

○政府委員(小平權一君) 御答イタシマスガ、勿論御説ノ通りデアリマシテ、輸出生絲検査ハ此間御決定ヲ願ヒマシタアノ強制検査ガ施行サレレバ、輸出検査ニ付テハアレガモウ最後ノ検査ニナル譯デスガ、併シ品位検査ニ於キマシテモ、横濱、神戸ニ國立生絲検査所デ検査ニ合格スルヤウニ前以テ豫備ノニ検査ヲスルト云フコトハ相當必要ガアルカト思フノデアリマシテ、現在デモ輸出製絲業者デモ豫備的ニ自分デ検査出來マスレバ横濱へ持ッテ來テ不合格ニナッテ產地へ戻スト云フヤウナ心配ガナクナリマス、今度ノ品位検査ニ於テモ尙更其必要ガ相當アルンデヤナカラウカト思フノデアリマス、横濱へ持ッテ來テ此品位検査ガ不合格ニナッテ、又仕方ガナイカラ自分ノ製絲工場ニ戻シテヤリ直スト云フコトニナリマス、非常ニ經費ガ掛リマスカラ、出來ルナラバ此豫備検査ヲ此組合デ各產地デヤッテ戴イテ、サウシテ横濱へ持ッテ來タ場合ニハ、又自分ノ工場へ戻ス必要ハナイヤウニ容易ニ國ノ検査ヲ通ルヤウニシタイト云フ

考ヘテ有テ検査ノ費用ヲ玆ニマア特ニ認
メタヤウナ譯デアッテ、是ハ品位検査ガ將來
嚴重ニナレバナル程餘程其必要ガアルノデ
ナカラウカト斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマス

○男爵平野長祥君 モウ一ツ簡單ナコトデ
アリマスガ伺ヒマスガ、此五十七條ニ此蠶
絲業組合聯合會ノ七種ノ事項ガ舉ゲテアリ
マスルガ、其中唯此養蠶業組合聯合會ト云
フモノガ、特ニ此道府縣ノ養蠶業組合聯合
會ト云フモノヲ此所ニ御入レニナッタト云
フ理由ハ何カアリマスノデアリマスカ、其
理由ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(小平權一君) 御答申上ゲマス
ガ、養蠶關係ノ方ハ基礎團體ガ都市區域ニ
ナッテ居リマシテ、各部落區域ノ養蠶實行組
合ガ都市區域トシテ養蠶業組合ヲ組織スル
ノデアリマスカラ、ソレガ直接全國聯合ニ
纏メルト云フコトハ或ハ困難デハナカラウ
カト云フコトヲ考ヘマシテ、一應道府縣ニ
纏メテ聯合會ヲ作リマシテ、更ニソレカラ
全國養蠶業組合聯合會ヲ作ルト云フコトニ
シタ方ガ便利デハナカラウカト云フノデ、
養蠶關係ニ限、テ道府縣ノ聯合會ヲ認メタ
次第デゴザイマスガ、養蠶以外ノ方ニナリ
マスト云フト、蠶絲製造業者ノ方ハ最初ノ

組合、即チ蠶絲業組合ガ道府縣區域トシテ
設置スルコトノ案ヲ立デマシタ關係上、道
府縣デ聯合會ヲ作ル必要ハゴザイマセヌ
デ、直接個々ノ組合ガ全國聯合會ヲ組織シ
得ルコトニナリマスノデアリマスガ、養蠶
關係ダケハ小サイモノガ集マル關係上階段
ヲ多クシタ譯デアリマス、ソレデ前ニ差上
ゲマシタ圖表ヲ御覽ニナレバ御分リニナル
カト思ヒマスガ、養蠶關係ダケハ最初ハ此
小サイ都市區域ノ組合ヲ認メタ關係上、三
段ニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、其外
ハ直接道府縣ヲ區域トシテ居リマスカラ三
段ニナル必要ガナイノデ道府縣ノ聯合會ハ
認メマセヌコトトシマシタ譯デアリマス、
唯此間屋トソレカラ輸出業者ダケハ、是ハ
都市區域ニナッテ居リマス、最初ノ組合ハ郡
市區域ニナッテ居リマスケレドモ、是ハ府縣
デ聯合スル云フコトモ殆ド想像出來キマセ
ヌ關係上、例外トシテ問屋業ト輸出業ニ限
テ都市區域ノ組合ガ全國聯合會ヲ作り得ル
ト云フ例外ヲ認メタ譯デアリマス

○男爵平野長祥君 モウ一ツ伺ヒマスガ、
此蠶絲業組合、此列舉サレテ居ル事項ヲ見
マスルト、其中ノ何レニモ包含サレテ居ラ
ヌヤウデアリマスルガ、此蠶絲ノ販賣ト云
フコトガ曾テハ隨分海外ニモ販賣サレテ是

ノミヲ專問ニ營業トシテ居ル時代ガアッタ
ト思ッテ居リマスガ、當今ハサウ云フ者ハナ
イカモ知レマセヌガ、サウ云フ販賣事項ニ
付テノ何カ目的事項ガ玆ニ掲ゲテアリマセ
ヌシ、何レニモ網羅サレテ居ルヤウニモ見
エテ居リマセヌガ、サウ云フ必要ハアリマ
セヌカ

○政府委員(小平權一君) 御答イタシマス
ガ、此蠶絲ノ販賣ト云フコトニ付キマシテ
ハ、主トシテ此蠶絲製造業者ガ養蠶業者ノ
製造ノ蠶絲ヲ賣ルト云フコトノ統制ヲスル
考ヘデ立案イタシマシタ、從、テサウ云フ蠶
絲ノ取引關係ニ於テ養蠶業組合ノ方デサウ
云フ取引ノ點ニ付テ弊害ナリ、不利益ヲ取
引ヲシナイヤウニト云フ考デ、養蠶業ノ方
ノ仕事ニ考ヘテ居リマスルガ、主トシテ取
引ト云フヨリハ不良蠶絲トカ云フモノノ爲
ニ養蠶業者ハ極メテ不利益ヲ被ッテ居リマ
スカラ、其方面ハ主トシテ考ヘテ居リマス
ガ、勿論事業トシテハ養蠶業組合トシテモ、
十六條ノ八號ノ、七號ニテ掲ゲタ以外ノ事
業モ、十分出來ルヤウニ事業トシテハ認メ
テアリマスガ、養蠶業組合デ不利益ナ方法
デ蠶絲ヲ買取ラヌヤウニ決定出來ルノデア
リマスガ、勿論蠶絲ノ最重要ナル事項ト
シテハ、病毒トカ不正蠶種トカ云フモノノ

ナイヤウニト云フコトヲ考ヘマシテ、此規
定ニハ蠶種ノ取引ト云フコトニ付テハ別ニ
規定ハ入レテ居リマセヌデゴザイマス、ソ
レカラシテ海外ノ關係ハ、現在ハ海外ニ業
トシテ蠶種ヲ出スノハ餘リ餘計ハナイト思
フノデアリマス、唯近頃支那ノ方面ニ蠶種
ガ少シ出始メテ居ルヤウデアリマスガ、是
ハ色ミナ議論ガアリマシテ、日本カラ向フ
ヘ蠶種ヲ送ルノハ如何カト云フ議論ガ大分
ゴザイマス、支那ノ養蠶業ノ開發ニ良イ蠶
種ヲ出シタ方ガ宜イカドウカト云フコトハ、
是ハ大分微妙ナ問題ニナッテ居リマシテ、サ
ウ云フ點ハ……輸出蠶種ノ點ハ此法案デハ
觸レテ居ラナイノデゴザイマス

○男爵平野長祥君 私ガ其點ヲ御尋ネシタ
ノハ、今局長ヨリノ御説明ノ點ニ觸レテ居
ルノデアリマシテ、是ハ世間ニハ大分議論
ガアルヤウニモ私聞イテ居リマシテ、一體
此生絲ノ將來ノ我國ノ強敵ト云フモノハ支
那ヨリ外ニナイデアアラウト思フノデアリマ
ス、之ニ對シテ此營業者ガ唯營利的ヲ目的
トシテ居レバ割ヨク……、日本内地ノ蠶絲
業者ニ販賣スルヨリハ寧ロ支那方面ノ注文
ニ應ジテ續々此蠶種ノ製造ヲシテ、サウシ
テ之ニ販賣シタ方ガ宜イト云フヤウナコト
デ其所ニ何等カノ取締リ方法ガナイト、詰

デ其所ニ何等カノ取締リ方法ガナイト、詰

リ是ハマア私一箇トシテ考ヘテ居リマスノハ更ニ強敵ニ双ヲ與ヘルヤウナ具合ニナシテ大變國策トシテ將來マズカラウト思フノデスガ、兎ニ角此販賣ノ統制ヲ何レノ點デヤラレルノデアラウカ、其規定ガ見エマセヌカラチヨット伺フ次第デアル

○政府委員(小平權一君) チヨット私ノ申上ゲル言葉ガ足りナカッタノデ、尙更ニ御質問ガアッタコト思ヒマスガ、蠶種製造業者ノ組合或ハ全國聯合會デ、外國ニ蠶種ヲ出スノハイカスト云フ決議ハ、是ハ決議ガ十分出來ルノデアリマス、是ハ法律ニハ何モ蠶種ノ取引ノ改善ト云フ點カラハ表面ニ書イテアリマセヌケレドモ、日本ノ蠶絲業ノ爲ニ蠶種ハ國外ニ出サスト云フヤウナコトハ組合當業者間デ決メレバ十分此法制デ取締ルコトガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマス

○加藤政之助君 此法案ヲ見ルト云フト組織ハナカ／＼複雑ニナッテ居リマスルガ、從テ之ニ對シテハ、此組織ヲ完全ニ實行スル爲ニハ相當ノ費用ガ掛ルノデアル、當業者ハ自己ノ生産品ノ改良發達ヲ圖ル爲メデアリマスカラ、サウ云フ費用ヲ負擔スルト云フコトハ當然ノコトと思フノデス、ガ併シ之ヲ自然ノ自治ニ委セルト云フコトデハ、斯ウ云フ法令ヲ折角出來テモ其效果ヲ

十分擧ゲルコトガ出來ナイ、此目的ヲ十分達スル爲ニハ……、統制力ヲ十分持ツ爲ニハ、或ハ府縣中央政府相當ノ監督機關ガ要ルコトと思ヒマスガ、此實行ニ付テハソレ等ノ設備ノ爲ニドノ位ノ費用ヲ投ズルト云フヤウナ御考ハ豫メ極テ居ルノデアリマセウカ、現在ノ役員ノ組織デ十分統制監督ガ出來ルト云フ見込デアリマスカ

○政府委員(小平權一君) 御答ヘ致シマスガ、此經費ノ點ニ付キマシテハ實ハ色々考ヘマシタノデゴザイマスケレドモ、從來蠶絲同業組合ト云フ形デ相當ノ組合ガ出來テ居ルノデゴザイマシテ、蠶種製造間屋及ビ輸出業、此方面ノ組合ハ現在同業組合デモ十分政府ニ於テハ……十分出來テ居リマスノデゴザイマス、ソレデ現在蠶絲同業組合中央會ガアリマシテ、ソレ等ハ現在ノ農林省ノ經費デ相當指導獎勵監督ハシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、養蠶ノ方面ハ養蠶ノ任意組合ノ方ハ二万七千アリマスガ、是モ或ル程度ハ府縣デ……從來府縣費デ指導獎勵シテ居ル譯デゴザイマスガ、マア將來段々發達シテ來マスレバ發達スルニ從ッテ相當經費ハ必要ニナッテ來ルカと思フノデアリマスガ、此法案ガ施行スル本年ニ於テハ忽チ多額ノ經費ガナケレバイカスト云フ

十分擧ゲルコトガ出來ナイ、此目的ヲ十分達スル爲ニハ……、統制力ヲ十分持ツ爲ニハ、或ハ府縣中央政府相當ノ監督機關ガ要ルコトと思ヒマスガ、此實行ニ付テハソレ等ノ設備ノ爲ニドノ位ノ費用ヲ投ズルト云フヤウナ御考ハ豫メ極テ居ルノデアリマセウカ、現在ノ役員ノ組織デ十分統制監督ガ出來ルト云フ見込デアリマスカ

モノデモナカラウト考ヘマシテ、本年度ニハ此施行ニ要スル特別ノ増加ノ經費ヲ要求シテ居ラヌノデアリマスガ、本年度施行シタ結果ニ依リマシテ將來續々新シイ此養蠶方面ガ殖エテ來マスル、傾向ガアリマスレバ、勿論經費ノ心配モセネバナラヌト思ッテ居リマスガ、此施行ノ本年ニ於テハ先ヅ從來ノ指導監督ノ經費デ十分出來ルト斯ウ考ヘテ、本年度ハ此法律ニ伴フ經費ハ別ニ請求ヲ致シマセナカッタ次第デゴザイマス

○加藤政之助君 サウスルト現在ノ組織デ以テ道府縣モ之ヲ監督ノ任ニ當ル、統制ノ任ニ當ル、中央政府モ現在ノ役員デヤルト云フ先ヅ目的ナンデスナ

○政府委員(小平權一君) 左様デゴザイマス、此法案施行ノ本年度ハサウ云フ計畫デ考ヘテ居リマス

○加藤政之助君 將來モソレデ行ケルト云フ見込デスカ

○政府委員(小平權一君) 將來ハ相當ノ經費ヲ、自分デ考ヘマスレバ相當ノ經費ヲ要スルカト思ッテ居リマスガ、此施行ノ一二年ハ今マデノ經費デ行ケヤウト、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵平野長祥君 此組合聯合會ガ詰リ各代表ヲ出シマシテ、最後ニ日本中央蠶絲

會ナルモノヲ造ルノデアリマスガ、只今現ニアリマスル所ノ中央蠶絲會ナルモノノ組織ノ不備ナルガ爲ニ斯クナルコトと思フノデアリマスガ、只今ノ中央會ノ組織ハ定款ニ依ッテ各自代表ヲソレ／＼出シテ居リマスル、其數ナドハ甚ダ不均衡ノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、今回ハ此日本中央蠶絲會ニ於ケル代表ノ選出方法等ハ多分命令デ定メラレルデアリマセウケレドモ、ソレ等ノ内容ガ若シ御話下サルコトガ出來マスレバ、一應御説明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 御答ヘ致シマスルガ、日本中央蠶絲會ノ議員代表ノ公選ニ付キマシテハ十分各業者ノ利益ヲ公平ニ代表出來ルヤウニ定メルコトガ必要デアリマシテ、ソレニ付キマシテハ第七十六條ノ主項ニ「日本中央蠶絲會ノ議員ノ選任及ビ解任並ニ特別議員ノ任命ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト規定シテアリマシテ、此命令ニ於キマシテハ、十分各業者ノ利益ヲ公平ニ代表出來ルヤウニ議員ノ適當數ナリ、特別議員ノ任命ナリハ十分慎重ニシタイト思ッテ居リマス、ソレデ從來ニ於テハ動、トモスレバ現在ノ蠶絲業同業組合中央會ノ總會ノ構成ニ於テハ養蠶業者ノ利益ガ十分代表出來

ナイト云フヤウナ非難モ聞イテ居リマスノ
デゴザイマシテ、日本中央蠶絲會ガ出來ル
場合ニ於テハ其議員ノ配當ニ付テハ十分養
蠶業者ノ方ノ利益ガ外ノ業者ニ對シテ均衡

ヲ保ツヤウニ決定ヲ致シタイト考ヘテ居ル
次第デアリマス、從テ此議員ノ數ニ於キマ
シテモ今的確ニ何名ヅ、ヲ配當スルト云フ
コトハ今申上ゲルコトハ困難デゴザイマシ
テ、日本中央蠶絲會ガ出來ル實際ニナリマ
セヌト云フト、養蠶業ノ關係方面ニ於テモ
ドレダケノ實行組合ガ這入ッテ來ルカト云
フコトモ今ノ所ハ見當ガ付キマセヌノデ、
實際中央蠶絲會ガ出來ル其前ニ於キマシテ
十分考慮シテ養蠶業者ノ利益ガ公平ニ他ノ
業者ニ主張出來ルヤウニ配當ヲ考ヘタイト
云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵牧野忠篤君 平野男爵カラ役員ダ
ノ、何ダノ總會ノ議員ノ員數ノ御尋ガアリ
マシタガ、特別議員ノ數ダケハ五分ノ一ト
云フコトニナッテ居リマス、今度各業者カラ
シテソレノ（定員等）コトデ隨分強硬ニ意
見ガ相容レヌト云フヤウナ場合ガ起ラヌト
モ限リマセヌガ、サウスルト特別議員ノ員
數ガ割合少イコトニナリマスガ、之ニ付テ
ハドウ云フ御考ヘデアリマスカ、御考ガア
リマスレバ伺ヒタイ

○政府委員（小平權一君） 御答ヘ致シマス
ガ、特別議員ノ數ハ是ハ從來モ五分ノ一ニ
ナッテ居ッタカト思ヒマス、ソレデ此特別議
員ノ數ハ之ヲ非常ニ多クシマススト云フト、
自治的統制團體トシテハ餘リ官僚的ニ流レ
ル點モゴザイマシテ從來モ中央會ノ議員ヲ
農林省デ任命シテ居リマスケレドモ、出テ
御イデニナラヌ議員ガ大分多イノデアリマ
ス、今度ハ實際總會ニ差支ナイ限り出テ戴
ク本當ノ議員ヲ……本當ノ議員ト云ッテハ

可笑シウゴザイマスケレドモ、出來ルダケ
各業者ノ間ニ立入ッテ公平ニ議論ヲ立テ、
戴ク方ニ出テ戴キタイト考ヘテ居リマシ
テ、名前ダケノ議員ハ……是ガ出來マスレバ
寧ロ名前ダケノ議員デナクテ本當ニ出テ戴
ク議員ヲ任命シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
カラ、先ヅ五分ノ一位デ相當公平ナル總會
ノ決議ガ出來ルダラウ、斯ウ考ヘテ居ル次
第デアリマス

○子爵牧野忠篤君 イヤサウ云フ御考ガア
レバ差支ナイト思ヒマスガ、同數位御出シ
ニナッテモ差支ナイダラウト思ヒマスガ、各
團體カラ……サウシテ各團體カラ強硬ニ議
論シタ時ニハ、公平ナル特色ヲ有ッタ方ガ特
別議員ニナルノダカラ、サウ云フ方ガ裁判
官ト云ッテハ可笑シイケレドモ、調停デモ出

來ルト云フヤウニスルニハ、サウ官僚式ノ
方バカリガ出ル譯デハナイダラウガ、詰リ
學者ノ間トカ、色々其道ノ方ガ出ラレルノ
デセウネ

○政府委員（小平權一君） 御答ヘ致シマス
ガ、全國各聯合カラシテ同數ト云フコトハ
是ハ餘程此法律ガ施行サレテ後ニ於テ從來
ノ關係團體ト十分協議シテ慎重ニ決メネバ
ナラヌト思ッテ思リマスガ、同數ニスルト云
フコトハ、問屋業者、輸出業者ノ側ヲ考ヘ
マススト云フト、ドウモ組合ガ少イ輸出問屋
等カラ出ル數ト養蠶聯合會カラ出ル數ト同
ジニ決メルト云フコト、同ジ數ニ決メルト
云フコトハ、各業者ノ利益ヲ公平ニ集中スル
コトニナラヌカトモ考ヘル次第デゴザイマ
ス、是ハ餘程難カシイト考ヘテ居リマス
何レ實際此施行細則ヲ造ルヤウナ場合ニハ
十分各關係團體ノ意見ヲ徵シテ決メタイト
思ッテ居リマスルガ、從來ノ關係デドウモ議
員數ガ……選舉セラレテ居ル議員ニ對スル
比例ハドウモ五分ノ一位ガ普通デナカラウ
カ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵牧野忠篤君 マア能ク御考究ヲ願ヒ
マス、モウ一ツ伺ッテ見タイノデスガ、養蠶
家ノ特約組合ト云ヒマスカ、アレガ段々殖
エテ行クヤウデスネ、是ハ今度ノ法律ニ這

入ルト云フ譯ニモ行カズ、マア何ト言ヒマ
スカ、養蠶家ナリ、製絲家ナリガ、此組合
ノ中ニ入レルト云フヤウナ……農會ニ於ケ
ル實行組合ニ這入ルト云フヤウナコトハ何
カ方法ガアリマセヌカネ、今ヤッテ居ル特約
組合ガ……尙ホ今幾ツ位アリマスカ

○政府委員（小平權一君） 特約組合ノ數ハ
二万七千ノ任意組合ノ中デ一万餘ゴザイマ
ス、二万七千ノ中特約組合ノ數ガ一万一千
バカリゴザイマス、此特約組合ノ中ニハ……
此調ベガ任意組合ノ調ベト違ッテ居リマシ
テ、製絲業者ト特約關係ノアルモノハ皆小
サナモノデモ入レテ居リマシテ、必ズシモ
組合ヲ組織シテ居ナイモノモ這入ッテ居リ
マスカラ、多分一万一千ニハナラナイト思
テ居リマスガ、今度特約組合デモ出來ル時
ニハ此法制ニ依ル實行組合ニ代ルヤウニシ
タイト考ヘテ居リマス、小サナ共同組合ナ
リ、小サナ共同桑園ノ補助金ハ法人タル實行
組合ニ出スト云フコトニシテ行ッテ、出來ル
ダケ特約組合モ實行組合ニ入レテサウシテ
是ガ今度ノ養蠶組合ニ這入ル譯デアリマス
カラ、ソコデ統制シテ從來ノヤウナ弊害ノ
多イ特約契約ハ之ヲ成立タサナイヤウニシ
タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵牧野忠篤君 獎勵シテ御出デニナル

ノデスネ

○政府委員(小平權一君) ソレデ日本中央蠶絲會ニハ全國ノ製絲業者ノ聯合會ガ這入テ來テ居リマスカラ、ソコデ此中央ノ方デハ聯合製絲業者ニ對シテ特約組合ハ實行組合ニ代ラセルヤウニシヤウ、又特約組合ノ特約契約ハ斯ウ云フヤウニ模範契約ヲヤラセルヤウニシタイ云フヤウニ日本中央蠶絲會デシテ戴ケバソレヲ日本全國ノ各蠶絲業組合ニ守ラセレバ相當改善出來ルカト考ヘテ居リマス

○男爵平野長祥君 此五十二條ニアリマス生絲問屋業組合並ニ生絲輸出業組合ノ此目的事項ノ中ニ取引ニ關スル事項ガ大分アルヤウデアリマスルガ、之ニ付テ直接伺フノデハナイノデアリマスルガ、一體生絲ノ神戸橫濱ニ於テ行ハレテ居リマスモノ、又海外亞米利加其他歐羅巴ニ於テ行ハレテ居ルモノモドウモ歐羅巴以南デアリマスカラ、行ハレテ居ル取引所ノ様子ハヨク知りマセヌケレドモ、兎ニ角内地ニ於テノ神戸、橫濱ニ於ケル取引市場ハ私ノ聞イテ居リマスル所ニ依リマスルト、實ニ眞ノ取引ニアラズシテ輸贏ヲ爭フ所ノ一ツノ博打場ノ觀ガアルヤウニ私ハ思フノデアリマス、斯ノ如キ有様デアルト眞ノ生絲ノ價格ト云フモノ

モ安定ヲ保ッテ行クコトガ出來ナイノデハナイカ、徒ニ俗ニ言フ相場師社會ノ弄ビ物ニナッテ其爲ニ價格ガ始終變動スル、現ニ昨年ノ暮カラ本年ノ春ニ掛ケテハ私ナド新聞紙上ノ報ズル相場表等ニ依ッテ見テモヨク分ルコトデアリマシテ、現ニ亞米利加ノ輸入商トカ或ハ内地ニ於ケル輸出商ガ、賣手ニ廻ハル、眞ニ賣ラネバナラヌ所ノ製絲家ガ常ニ買手ニ廻ッテ輸贏ヲ爭ッテ居ルヤウニ見エ、斯ノ如キ取引所デアッテ見テハ眞ノ取引改善ト云フコトハ圖ラレスト思ヒマスガ、

此當局ニ於テハ何トカシテ此現物ノ眞ノ取引所ヲ早ク設置サレトカドウトカ云フ御方針デモアリマセウカ、此問屋業組合トカ或ハ製絲業者組合ニ此取引改善ノ途ヲ唯調査研究サシテ置クト云フ位ノ程度デハ、何時マデモ之ヲ改メルコトガ出來ナイノデハナカラウカト思ヒマスルノデ、之ニ直接關係ハアリマセヌケレドモ、御意響ヲ承ッテ見タイト思ッテ居リマス

○政府委員(小平權一君) 御答ヘ致シマス、此取引方法ノ改善統一ニ關スル施設ト云フノヲ、五十二條ノ問屋業組合ト輸出業組合等ニ認メマシタノハ、是ハ單純ニ調査研究ト云フノデアリマセヌノデ、進ンデ或ハ現物市場ヲ認メルヤウナ、現物市場ヲ

設置スルヤウナ方法マデモ進ンデ各業者ヲシテ自覺サセテ行キタイ、現ニ橫濱、神戸ニ於ケル生絲取引ノ不完全ノ點モ具體的ニハ段々ニ改メテ行キタイト云フコトデ此條項ヲ認メテ居ルノデアリマス、橫濱、神戸ノ問屋ノ組合、輸出業組合ガ取引方法ノ改善ノ爲ニ從來モ夫々色々改善ノ點ニ付テ調査ヲシ或ハ仲裁規定ノヤウナモノモ組合デ設ケテ少シハ改善サレテ來テ居リマスルケレドモ、此統制ヲ目的トシテ居ル團體制度ガ出來マスレバ、更ニ一層進ンデサウ云フ方面ニ十分改善統一ヲサセタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、進ンデハドウシテモ橫濱、神戸ニ於キマシテ生絲市場ニ對シテ現物市場……今ノ相對ヒツクデ賣買ヲシ、或ハ暗相場デ賣買スルト云フコトヲナクシテシマッテ、現物ノ取引市場ヲ作ルト云フコトモ非常ニ必要ダト思ッテ居リマスガ、ソレニハドウシテモ統制ヲ目的トスル團體ガサウ云フ市場ヲ組織スルトニ向イテ参リマセヌト、法令ノミデ實行ガ出來ナイノデアリマスカラ、先ヅ此統制ヲ目的トシテ居ル團體ガ出來マスレバ、第一ニサウ云フ點カラ著手シテ取引ノ改善ニ一歩進メタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスル、更ニ進ンデトシテモ現物市場トカ云フ方面ニマデモ進

マセタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 皆サンノ御質問ガ大抵濟ンダト心得マスカラ、討論ニ移リタイト思ヒマス、御意見ガアリマスルナラバドウゾ此場合御述べ下サルヤウニ願ヒマス

○男爵平野長祥君 私ハ此蠶絲業組合法案竝ニ自然之ニ伴ッテ改正サレル所ノ蠶絲業法中改正法律案ノ兩案ニ對シマシテ別段ニ異議ハアリマセヌノデアリマス、全然此原案ニ贊成ヲ致スノデアリマス、唯承ハル所ニ依リマスルト衆議院ノ委員會デアリマスルカ、本會議デアリマスルカ存ジマセヌケレドモ、繭乾倉庫組合ニ付テノ希望ガ付セラレテアルヤウデアリマシテ、本員ト致シマシテモ洵ニ將來スノ如キ業務ガ益、盛ニナリ、倉庫ノ經營者ノ數モ漸々殖エテ來ルモノデアラウト想像サレマスルノデ、私ノ聞キマシタ所ノ繭乾倉庫組合ヲ將來此組合ニ詰リ大日本蠶絲中央會ノ組織ノ一部分タル各種ノ組合ノ中ニ、繭乾倉庫組合モ包含スルヤウニ將來心懸ケテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ハ私トシテモ誠ニ同感ニ考ヘル次第デアリマシテ、別段更ニ私トシテノ希望トシテハ申上ゲマセヌケレドモ、私ノ聞キ

マシタ衆議院ノ希望條件ナルモノガ、果シテ其通りデアラナラバ洵ニ結構ナルコトデアルト思フ居リマス、唯ダソレダケノコトヲ付加ヘテ此兩案ニ賛成スル者デアリマス

○加藤政之助君 私ハ此我國ノ生絲ハ申スマデモナク、日本輸出品ノ重要品デアッテ、之ガ將來盛ニナルト衰ヘルノトハ、我國ノ經濟ニ重大ナル關係ガアリマスル、過去ノ此養蠶、製絲關係ノ仕事ガ不統一デアルト云フコトハ、遺憾千萬ニ久シク思フ居リタ

ノデアリマスガ、此案ガ出マシテ、之ガ完全ニ實行サレル以上ハ、其邊ノ弊害ハ玆ニ防止スルコトガ出來ルト斯ウ思フノデアリマス、此案全體ニ付テハ全案トモ賛成デア

リマスガ、併シ此精神ヲデス、法文ノミナラズ徹底的ニ實行ガ出來マスルヤウニ、當局者ニ非常ノ御努力ヲ併セテ希望スルト斯ウ云フ意味カラ申シタノデアリマス

○子爵牧野忠篤君 反對ノ御意見モナイ、賛成バカリ申上ゲテ何デアリマスガ、私モ一言簡單ニ申上ゲタイ、實ハ我國ノ蠶絲業ト云フモノハ、非常ニ疲弊シテ居リ、此頃ハマア極度ニ達シテ居ル、是ハ申スマデモ

ナク或ハ米國ノ經濟界ノ影響デアルトカ、其他色ミノ原因ガアリマスケレドモ、是ハ兎ニ角當業者ガ今マデノ通り統制力モナク、

各、勝手ノ行動ヲシテ居ル、是モ亦一原因デアラウト思フノデアリマス、此度此連絡統制ノ下ニ互ニ協調シテ、此組合法ニ依ッテ、斯業ノ改善、發達、刷新ヲヤルト云フコトハ誠ニ刻下ノ急務デモアリマスルシ、

又サウナケレバナラヌ管デアッタノデアリマス、所ガ此際各團體ノ……、權威アル現在ノ御承知ノ通りノ中央會、其他色ミナ養蠶組合ノ方モ、始終……、自分トシテモ多少

存ジテ居リマスルガ、今マデ非常ナマア相容レナイ所ノ意見ガアリマシタノデ、今日マデ延ビテ、マア加藤君ノ仰シヤル通り、誠ニ慨ハシキ次第デアリマシタケレドモ、

今日其缺陷ヲ打破シテ、サウシテ又各、難局ニ當ル爲ニ當事者モ目ガ醒メテ來テ、御五ニ協調スルト云フコトニナリ、又政府モ其ノ策ヲ執ラレマシテ、コ、ニ此法律案ヲ

出サレルト云フコトハ、誠ニ結構ナコトデアリマスカラ、ドウカ私トシテモ本法實施ニ付キマシテハ、從來渾沌トシテ不統一ナル所ノ、此蠶絲業ニ對スル基礎ヲ益、鞏固ニシテ、團體ヲ組織シ、又其進歩改良ヲ圖

リ、又國家ノ爲ニ利益増進ニ努メラレルコトハ無論デアラウト思ヒマスガ、尙更ニ進シデ此蠶絲業者間ノ連絡ヲ取ラレ協調ヲシテ、本邦蠶絲業ヲ益、發達セシメルコトハ

我ミトシテ誠ニ希望シテ止マヌ所デアリマス、ドウカ政府ニ於テモ十分御考ナサレテ、國家大局ノ上カラドウカ此法案ノ運用ニ付テ宜シク御努メニナルコトヲ希望ニ堪ヘヌ

次第デアリマス、今衆議院ノ希望條件ヲ平野君カラ御話ガアリマシタガ、私モ之ニ對シテハ、何等ノ異存ハアリマセヌ、右等ノ理由ヲ以テ本案、兩案トモ賛成イタシテ置キマス

○副委員長(子爵伊集院兼知君) モウ皆サシノ御議論モ盡キヤウニモ思ヒマスカラ採決ニ入りマス、此案ニ付テ御考ハ如何デスカ、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 御異議ナイモノト認メマス、全會一致決イタシマシタト云フコトニ認メマス、本案ハ可決ニナリマシタ、是デ散會イタシマス

午後二時五十五分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 子爵伊集院兼知君

委員 子爵牧野 忠篤君

男爵平野 長祥君

加藤政之助君

三木與吉郎君

政府委員 農林省蠶絲局長 小平 權一君

農林書記官 井野 碩哉君

山上 岩二君

印刷者 内閣印刷局

貴族院事務局

昭和六年三月三十日印刷

昭和六年三月三十一日發行

昭和六年三月三十日印刷

昭和六年三月三十一日發行

昭和六年三月三十日印刷

昭和六年三月三十一日發行

昭和六年三月三十日印刷